

人生をも変えるほど 顔を変えられる 天才美容整形外科医

外見を美しく変えたいという願いを叶えるのが美容整形外科医「FACE MAKER ER」は、その天才的な技術で、人の顔を別人に変えることができる謎めいた美容整形外科医・霧島の暗躍を描くサスペンス。



毎週 木 FACE MAKER

TV 日本テレビ系 後11:58~深0:38

STAFF & CAST 脚本／荒井修子 高山直也
田中眞一 田辺茂範ほか 演出／植田尚 大塚徹 二宮浩行 出演／永井大 日向千歩ほか

霧島 瞬▶永井大

過去に秘密を抱える謎多き人物

FACE MAKER と呼ばれる天才美容整形外科医。かつてアメリカの連邦保安局で、「連邦証人保護プログラム」の手術を執刀していた。過去に記憶を失っていたこともあったが、多くは謎に包まれたままだ。

患者から料金はとらず、報酬として患者のそれまでの顔をもらう霧島。その顔は、「フェイスライブラリー」に飾られ、患者はそこから好きな顔を選ぶ。つまり別の誰かの顔になるということだ。霧島の元を訪れるのは、さまざまな事情で人生に絶望した人々。別人となり新たな人生を歩み出した彼らが体験する数奇な出来事とは…？

★殺人事件を目撃したために命を狙われている女性が霧島の元へ。整形手術を受けた志村奈々(MEGUMI)として新しい人生を歩み始めるが、目撃した事件の被害者の遺体が発見され…。【11/4 困第5話】

PROFESSIONAL 美容整形外科医



クレーム、問い合わせには一切応じない

同じ人間には二度手術しないことが条件。さらにクレームや、元の顔が誰に売れたのかなどの問い合わせには一切応じない。患者の必死の懇願も無視。

声も変わって、まったくの別人に变身

元は誰かのものだった顔を選んで整形するため術後はまったくの別人に。骨格も変われば声も変わる。もちろん患者たちは別の名前を持ち、新たな人生を。

患者に接触するのは必要最低限

霧島は「クランケの背景に興味はない」と、ただ淡々とオペを実施。術後に患者と接触するのは、元の顔が売れたことを報告するときのみだ。



意見があるのは当然のこと

なりたいイメージと違うという相談は意外と多いとか。「クレームというか意見があるのは当然と思っていますし、僕らのためにもなる。意見を言いやすい雰囲気づくりも大切です」。



別人にはなれないけれど…

まったく別人に、というのは難しいと片岡先生。「さすがに声までは変わりませぬね(笑)。ただ人の印象って、二重などちょっとしたプチ整形程度でも、変わるものですよ」。



カウンセリングは最重要!

術前のカウンセリングは丁寧に言うという。「患者さんとイメージを共有することが大切。術後のメンタル的なフォローも当然です」。霧島のようにドライに接するのはもってのほか!

「ただ、みなさん緊張して来られますので、最初から何でも話して下さるということは少ないです。ですから、私たちの病院ではカウンセリングに重点を置いています。納得するまで何度も時間を取りますので、その過程で緊張や警戒心がとれて親しくなりますし、信頼も生まれてきます。もちろん、うちの病院だけじゃなく、ほかの病院の話も聞いていただくことも推奨しています。ドラマはサスペンスですが、術後はみなさんやはり変わりますよ。きれいになったね、と言われたりして自信がついてきたときの表情なんか、とても生き生きといて楽しいですよ。見た目はもちろん、心まで元気になってくださる方も多いで僕もうれしいですし、みなさんが少しでも幸せになれるお手伝いができるというのは、とてもやりがいのある仕事だと思っています」。

「患者さんは顔や体だけでなく、その人なりたいてい、という思いは当然あると思います。例えば離婚をきっかけに、という方も意外と多いです、それぞれの人生のドラマ、が垣間見えるときもあります。ただ、みなさん緊張して来られますので、最初から何でも話して下さるということは少ないです。ですから、私たちの病院ではカウンセリングに重点を置いています。納得するまで何度も時間を取りますので、その過程で緊張や警戒心がとれて親しくなりますし、信頼も生まれてきます。もちろん、うちの病院だけじゃなく、ほかの病院の話も聞いていただくことも推奨しています。ドラマはサスペンスですが、術後はみなさんやはり変わりますよ。きれいになったね、と言われたりして自信がついてきたときの表情なんか、とても生き生きといて楽しいですよ。見た目はもちろん、心まで元気になってくださる方も多いで僕もうれしいですし、みなさんが少しでも幸せになれるお手伝いができるというのは、とてもやりがいのある仕事だと思っています」。

「幸せになるお手伝いができるのはうれしいです」

専門家に聞く 仕事のリアル

